

県が求める新技術・新工法

I 測量・設計・調査・情報処理に関する技術

テーマ No	測量・調査・情報処理	
I-1	空洞内部の測量技術	人がほふく前進でしか入れない、又は、人が入れない狭小な断面の素掘り水路トンネルにおいて、内部の断面や延長を測るための方法、技術があれば提案いただきたい。なお、土被りは10m～20m程度ある。
I-2	農業用管水路の位置 特定技術	山林部に埋設されている農業用管水路の位置を特定する調査技術を提案いただきたい。 ※既設管水路は昭和30年代に築造されたが、管理柵等の施設が無く、また地上権等の設定等も未実施であり埋設されている位置が不明である。
I-3	路面下空洞探査	近年の道路陥没事故多発を踏まえ、道路面下等の深部に埋設してある下水道管等の位置や空洞状況の効率的な調査方法について
I-4	打音調査	下水道管内のコンクリート内面の劣化状況を非破壊で把握する打音調査方法について
I-5	下水道管路内調査	ドローン、テレビカメラ調査の新技術について

県が求める新技術・新工法

Ⅱ 新工法・新材料及びその他新技術

テーマ No	新工法・新材料等	
Ⅱ－１	施工の効率化	３Ｄプリンター技術の紹介
Ⅱ－２	生産性の向上	測量・設計・調査・施工・管理の省力化・省人化、新技術
Ⅱ－３	斜面の侵食防止対策	土壌藻類資材の紹介
Ⅱ－４	安全施設	アンダーパスの冠水時の対応として、エアー遮断器等をプレゼンしてほしい
Ⅱ－５	木材利用	県産材利用促進条例制定を受け公共土木事業での木材利用促進を図るため、木製２次製品、公園等施設、仮設資材等の紹介

県が求める新技術・新工法

Ⅲ 維持管理に関する技術

テーマ No	維持管理	
Ⅲ－１	インフラメンテナンス	橋梁の塗替工事では、PCBや鉛等の有害物質が含有されている場合は、飛散防止やばく露防止といった大規模な仮設が必要となり、工事費が高くなる。 また、凍結防止剤を散布する路線では、塩分の供給により鋼材の腐食が進行しやすく、塗り替え後も再劣化してしまう事例もある。 このため、素地調整にあたり、粉塵の飛散が抑制され安全に作業でき、劣化因子である塩分を除去可能な技術があれば提案いただきたい。
Ⅲ－２	下水道管路更生工法	老朽化した管径1500～2000mmの非開削による複合管更生工法について